



作付面積日本一となった水稲品種「日本晴」と育種記念碑

昭和38年に開発した「日本晴」は、昭和45年から昭和53年までの9年間全国第一位の栽培面積となった。この「日本晴」の優秀性を永く後世に伝えるため、地元農家を始め多くの農業関係者の発意により記念の碑が昭和58年に建立された。



安城農業技術センター (上:平成3年、左:平成27年)

昭和45年4月に農業総合試験場として統合し、水田技術実験農場に、昭和58年からは安城農業技術センターとなった。現在は作物研究部水田利用研究室となっている。

世代促進温室

日長と温度を制御し、1年に3作を可能にした世代促進温室は、愛知県の水稲育種に大きく貢献している。

